



2016年7月28日
株式会社三菱総合研究所
株式会社日立製作所
株式会社NTTデータ

経済産業省の平成28年度「IoT推進のための社会システム推進事業 (社会インフラ分野でのIoT活用のための基盤整備実証プロジェクト)」を受託

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太、以下MRI)は、このたび、経済産業省の平成28年度「IoT推進のための社会システム推進事業(社会インフラ分野でのIoT活用のための基盤整備実証プロジェクト)」(以下、本事業)を7月1日に受託しました。MRIは、株式会社日立製作所(執行役社長兼CEO 東原敏昭、以下日立)および株式会社NTTデータ(代表取締役社長 岩本敏男、以下NTTデータ)とともに、2017年3月末まで本事業を推進することを本日発表します。

我が国の社会インフラにおいては、設備の老朽化、人口減少に伴う需要減および職員の高齢化に伴う技術継承への対応が喫緊の課題となっています。このような課題解決に向けてCPS(注1)やIoT(注2)を活用することは、社会インフラをスマート化(最適化、効率化)するとともに、高付加価値化にも有効であると考えられています。

社会インフラ分野の中でも、地方自治体が経営する水道事業、特に給水人口が5万人以下の水道事業体において上記の課題が顕著となっています。中長期的視野に立ちつつ、既存の資産と情報(データ)を活用して水道インフラの最適化や維持管理の効率化を図ること、すなわちCPS/IoT活用により水道事業のスマート化を促すことは、水道事業が抱える諸課題の解決に大いに貢献し、効率性を重視しつつ強靱な水道インフラの構築を実現する上で、極めて重要な取り組みとなります。

本事業は、経済産業省の「平成27年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(水道事業におけるCPS(サイバーフィジカルシステム)実装のための調査研究)」の報告書を踏まえて推進するものです。本年度は、水道事業におけるCPS/IoT活用のあり方や、必要となるルール、対処すべき課題などを検討してきたことを踏まえ、今後の「水道事業の広域化」も見据えつつ、水道事業にCPS/IoTを実装するためのフレームワーク(枠組み)とその実現に向けたロードマップを議論します。その議論を踏まえ、水道事業においてCPS/IoT活用の具体的なシナリオを実証し、水道事業に限らない社会インフラ分野全般におけるCPS/IoT活用の有効性などを検証します。

また、CPS/IoT活用に当たり懸念されているセキュリティーなどの課題についても、想定されるリスクとその対処方法などを併せて検証します。これらを通じて、社会インフラにおけるCPS/IoT活用のための基盤を整備し、CPS/IoTを活用した社会システムの実現に向けた検討を行います。

推進にあたっては本事業を二つに分け、テーマ1を「社会インフラCPS/IoT推進マネジメント事業および他の社会インフラへの展開可能性調査」としてMRIが推進し、テーマ2を「水道CPS/IoT実証事業の実施」として、MRIから日立およびNTTデータに再委託し、推進していきます。

注1: CPS(Cyber Physical System)

注2: IoT(Internet of Things)

■各社ホームページ

株式会社三菱総合研究所 <http://www.mri.co.jp/>

株式会社日立製作所 <http://www.hitachi.co.jp/>

株式会社NTTデータ <http://www.nttdata.com/jp/>

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

【内容に関するお問い合わせ】

株式会社三菱総合研究所

環境・エネルギー研究本部 水道 CPS 担当

電話:03-6705-6035 メール:infra-cps-ml@mri.co.jp

株式会社日立製作所 IoT 推進本部 IoT プロジェクト推進本部

サイバー・フィジカル・システム部 水道 CPS 担当

電話:03-5471-2649 メール:cps-info@ml.head.hitachi.co.jp

株式会社NTTデータ 第一公共事業本部

e-コミュニティ事業部 企画統括部 IoT インフラ担当

電話:050-5547-9405 メール:anysense_sales@kits.nttdata.co.jp

<参考資料>本事業の概要について

経済産業省を中心に、MRI、日立、NTT データが連携し、水道事業が抱える諸課題の解決に向け、実証を通して CPS/IoT 活用による具体的な効果を検証するとともに、水道事業に限らない社会インフラ分野全般における CPS/IoT 活用の有効性などを検討します。

事業実施期間は 2016 年 7 月～2017 年 3 月末です。

テーマ 1:社会インフラ CPS/IoT 推進マネジメント事業および他の社会インフラへの展開可能性調査

【実施主体:MRI】

(1)水道 CPS/IoT 実証事業のとりまとめ・検討などの実施

水道 CPS/IoT 実証事業について、実証事業全体のマネジメント・進捗管理・情報共有などを行うとともに、各実証の実施状況・成果をとりまとめ、各実証の効果の横断的な分析を行います。また、他の水道事業体への横展開の方策、応用のしやすさ、標準などのルールなどについての検討などを行います。本年度は以下の内容を中心にとりまとめ・検討を行います。

- ・各実証における横断的な課題の整理と検討
- ・各実証の実施状況のとりまとめ
- ・他の水道事業体への横展開の方策の検討 など

(2)他の社会インフラへの展開可能性調査の実施

電気・ガスなどの他の社会インフラへの CPS/IoT 展開可能性や効果(効率化、省エネ、生産性向上)、他インフラへの展開・相互運用を見据えたルール・標準などについての調査・検討を行います。本年度は主に以下の内容を中心にして調査事業を行います。

- ・他の社会インフラへの CPS/IoT 展開可能性の検討
- ・CPS/IoT による効果(効率化、省エネ、生産性向上など)の検討
- ・他インフラ横断での相互運用を見据えたルール・標準・セキュリティーなどに関する検討 など

(3)検討委員会の設置・運営

(1)、(2)の検討に当たって、有識者、企業などからなる検討委員会を設置し、検討を行います。

テーマ 2:水道 CPS/IoT 実証事業 【実施主体:日立、NTT データ】

水道事業におけるアセットおよびオペレーションの CPS/IoT 活用シナリオについて、実際の水道事業体を対象に、実証事業の実施・効果の検証などを行います。また、併せてセキュリティーなどの課題についても検証などを行います。本年度は以下の内容を中心にして実証事業を行います。

- ・実サイトを想定した実証シナリオ、セキュリティーシナリオの具体化
- ・実証事業の仕様検討(使用機器の検討、仕様データの形式検討など)、実証事業の着手
- ・効果の検証方法の検討 など

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
